

# 「勇健都市」の実現で

## 持続可能な地域社会を

『自助力』、『共助力』、『公助力』を結集することで  
力強く健やかな『勇健都市』づくりに邁進していきたいと  
市長の施政方針が示されました。

新年度予算は、本会議での質疑を踏まえ、3つの常任委員会へ付託され、  
延べ4日間にわたって審議されました。  
その結果、付託されたすべての議案は、常任委員会で可決すべきものと決定。  
19日に行われた本会議で可決しました。

### 主な新規・拡充事業

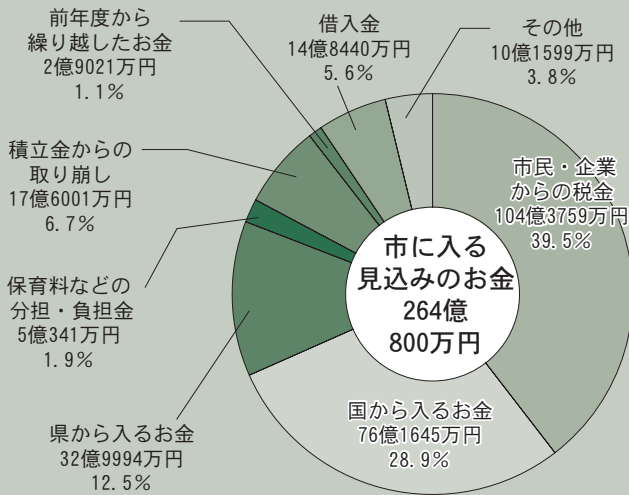
■防災ハザードマップ作成費	699万円
■建築物耐震改修促進計画策定費	635万円
■公用車青色回転灯設置費	81万円
■使用済小型電子機器等回収事業費	162万円
■公園施設長寿命化整備費	3500万円
■橋梁改築事業負担金	400万円
■健康づくり計画策定費	228万円
■施設整備費（総合福祉会館）	741万円
■施設整備費（美和すみれの里費）	2219万円
■実費徴収分補足給付事業費	75万円
■農地中間管理事業費	4673万円
■施設整備費（産業会館費）	479万円
■公共施設等総合管理計画策定費	451万円
■個人番号カード交付事業費	3042万円
■あま市市制周年事業費	162万円
■総合防災訓練事業費	287万円
■がん検診事業費	1億1831万円
■運営費（児童クラブ費）	1億384万円
■教育相談支援費	1015万円
■職員研修費	477万円

## 一般会計

264億円の使いみち決まる  
「選択と集中」を行い、中長期の視点に立ち  
財政規律を堅持

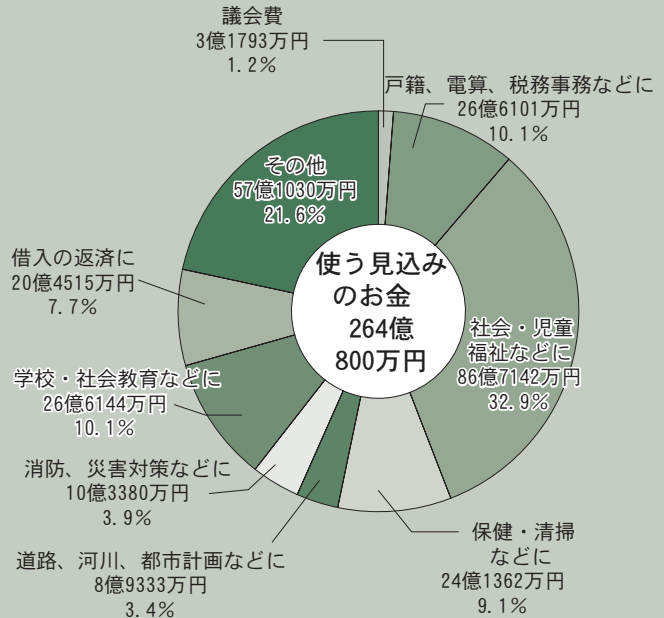
## 予算編成の方針

真に必要な行政サービスの堅持に努めつつ、将来の山積する課題に対応できる予算とするために、「選択と集中」による実効性の高い取り組みを行い、中長期の視点に立って財政の健全化を堅持する方向で予算編成。



## 一般会計の概要

歳出は、補助費等が「病院事業会計支出金」の増加や「農地中間管理事業補助金」の新規計上などにより前年度比4億8737万円の増額。歳入では、市税が前年度比9084万円増（0.88%増）の104億3759万円など。



## 自主財源比率

問 前年度より高くなった理由は。

企画財政部長 新病院の開院に向けた準備経費に対応するため、財政調整基金からの繰り入れを増額したため。

問 今後の見込みは。

企画財政部長 新庁舎や新学校給食センター整備の着手時に多額な市債の発行を見込んでいるため、自主財源比率は低下する。

## 諸支出金

問 増加要因は。

財政課長 主に病院の開院に向けた準備経費により、病院事業会計支出金が大きく増加したため。

## 地方交付税

問 減額の理由は。

財政課長 平成27年度から合併特例措置の上乗せが段階的に縮減されていくため。

## 市債

問 臨時財政対策債の減額の理由は。

財政課長 地方交付税と連動しており、地方交付税が減額されれば、臨時財政対策債の発行可能額が減額となるため。

## 基金

問 基金の取り崩しは今後どうなるのか。

財政課長 平成27年度から交付税の縮減や社会保障費の増大などで、少なからず基金が減っていくと考える。

(6ページにつづく)

（こ）は

### 【地方交付税】

地方自治体の収入の格差を補うことを目的に、国税の一部について一定割合の額を国が交付する税のこと。自治体財源の不足分に応じて額を決定する普通交付税、自然災害時などで交付する特別交付税がある。

### 【臨時財政対策債】

国の地方交付税特別会計の財源が不足し、地方交付税として交付するべき財源が不足した場合に、地方交付税の交付額を減らして、その穴埋めとして、該当する地方自治体に必要に応じて地方債を発行させる制度。

(5ページからつづく)

## 公用車青色回転灯設置費

**問** 青色防犯パトロールの講習を受けるとあるが、職員何人を予定しているのか。

**総務部次長兼安全安心課長** 医療職および保育士を除く職員420名を予定している。

**問** 設置車両10台の3庁舎配分は。

**総務課長** 既存の2台と合わせて全部で12台。3地区に均等に4台ずつ配置したいと考えている。

**問** 市民にも講習を受けてもらって、有効活用できないか。

**総務部長** 職員が通常業務に使用している公用車に防犯パトロール車の役割を付加するもので、市民の方が活用することは考えていない。

**問** 設置はいつごろの予定か。

**総務部長** 平成27年9月の中旬を予定している。

## 地域公共交通 試行運行事業

**問** 運行開始までのスケジュールは。

**企画財政部長** 4月に公募をし、5月に企画提案書の受理、6月に受託業者を決定し、契約、7月からおおむね3カ月程度で法手続を行う。その後、秋には試行運行を開始したい。

**問** 工事請負費が昨年度と異なる理由は。

**企画政策課長** 平成26年度は、バス停の数を150基と想定し、予算を積算した。

平成27年度は、ルート上のバス停の位置がほぼ固まり、公共交通会議の

中で整ったということで110基の予算を計上したため。

**問** 乗車料金は。

**企画財政部長** 1日幾らという形で、中学生以上200円、小学生100円、75歳以上、障がい者本人と付き添い1名、未就学児、自動車運転免許証自主返納者は無料となる。

**問** コースは。

**企画政策課長** 公共施設、商業施設、医療施設、名鉄バス路線、名鉄津島線をコンバクトに結んだコースを設定している。

**問** 運行日時は。

**企画政策課長** 火曜日、金曜日、日曜日の午前9時から午後5時としている。

## 地区集会所建設(改修)補助金

**問** 建設地区は。

**総務課長** 七宝町沖之島公民館、七宝町遠島公民館、花正公民館、小橋方公民館の4カ所である。

**問** 限度額は。

**総務課長** 工事費の2分の1を補助し、上限は500万円。100万円未満の事業費は、対象外である。

## 市民活動センター事業費

**問** 申し込みはどのような受け付けしているのか。

**企画政策課長** 場所は七宝産業会館の1階。自由に使用できるスペースについては、申し込みは必要ない。打ち合わせスペースは、窓口、電話、

電子メールで受け付けている。予約なしでも空きがあれば、利用団体に限り、利用していただいている。



市民活動センター

**問** 委託料の内容は。

**企画政策課長** 市民活動を行うに当たっての相談事業、登録団体が利用するコピー機やプロジェクトなどの管理、市民活動団体のための講座の開設、市民活動団体情報の提供などを委託する。

## 派遣職員負担金

**問** どこからの派遣職員で、何人予定しているのか。

**企画財政部長** 愛知県から県職員が5人派遣される。

**問** 配属先は。

**企画財政部長** 企画財政部に1名、総務部に1名、福祉部に1名、建設産業部に2名配置する。

## 国際化推進事業

**問** 事業の内容は。

**企画財政部長** 災害時の避難所運営を想定し、避難された外国人に対し避難所内の設備やルールなどが周知できるように、避難所運営で活用できる揭示物を作成する。

## 子宮頸がん予防ワクチン

問 これまでのあま市の接種者数は。

健康推進課長 1回でも接種した方は1487人である。

問 副反応が出た件数は。

健康推進課長 副反応じゃないかという相談は5件あった。

問 副反応に対する救済制度は。

健康推進課長 今後、研究していきたい。

## 使用済小型電子機器等回収事業

問 回収場所、回収時間は。

市民生活部長 甚目寺庁舎南側出入口付近にある

リサイクルステーション



リサイクルステーション内で、年末年始を除く毎日午前9時から午後5時まで実施予定。

また、携帯電話程度の大きさのものに限り、あま市指定のごみ袋販売店のうち、24時間営業のコンビニエンスストアでも回収ができるよう各店舗に協力をお願いしている。

問 回収後は誰が処分するのか。

環境衛生課長 県に登録している業者が行う。

## 後期高齢者福祉医療費

問 対象者は何人を予定しているのか。

保険医療課長 1287人を想定している。

問 医療費が無料になる制度だが、知らない人たちも多い。周知についてどう考えているのか。

保険医療課長 広報、ホームページなどでPRしていきたい。

## 児童遊園費

問 遊具の撤去も考えているのか。

子育て支援課長 修繕がきかない場合は、撤去が必要になる場合もあるかと考える。

## 施設整備費（保育園）

問 萱津保育園防水工事と新居屋保育園外装塗装工事の内容は。

福祉部長 萱津保育園は屋上からの漏水があるため、屋上全面の防水工事を行う。

新居屋保育園は建物各所にひび割れがあり、塗膜の浮きなどが数多く見られるため、塗装工事を行う。

## 生活困窮者自立支援事業

問 事業の内容は。

社会福祉課長 生活保護に至る前で、なかなか相談ができないような方に対して、甚目寺庁舎の窓口で相談を受ける。

## 施設管理費

問 防犯カメラ借上料とあるが、何台設置するのか。どのような性能を持ったカメラなのか。

建設産業部長 3台を予定している。全天候型のSDカード内蔵で1週間の録画をする機能がある。

問 どこに設置するのか。

土木課長 名鉄七宝駅南側の沖之島駐輪場に2台、名鉄七宝駅北側の富塚駐輪場に1台設置する。

問 それ以上の台数を設置する考えは。

土木課長 設置場所や防犯効果などを総合的に判断し、津島警察署などとも協議をしながら検討していきたい。

## 木造住宅耐震化促進費

問 耐震シエルトとは。都市計画課長 地震発生時に住宅の倒壊から居住者の命を守るための装置であり、既存の住宅内の一部を鉄骨造りなどにし、仮に家が倒壊しても、生存空間は保たれる構造のもの。

## 排水路現況調査費

問 調査はいつ頃行うのか。

建設産業部長 水位の高い6月から9月を予定している。

（8ページにつづく）



(7ページからつづく)

## 総合防災訓練

### 事業費

問 昨年の3カ所から5カ所に場所が増えるが、美和地域が1カ所の理由は。

総務部次長兼安全安心課長 地域密着型の訓練で行うことを踏まえ、市内の中学校での開催を計画している。

問 避難所体験の内容は。

総務部次長兼安全安心課長 避難所間仕切り体験や仮設トイレの設営体験などを計画している。

## 防災ハザードマップ

問 作成時期と配布方法は。

総務部長 作成は平成28年1月頃で、全世帯に市

広報などと同時に配布する予定である。

## 消防資機材等整備費

問 修繕の内容は。

総務部次長兼安全安心課長 七宝グラウンドの飲料用水兼耐震性貯水槽の点検の結果、緊急遮断弁のシリンダーに不具合が見つかり、取りかえが必要になった。

## ブックスター事業

問 事業の詳細は。

教育部長 平成27年4月生まれからの乳児を対象に、乳児健診時の読み聞かせで家庭での読み聞かせの大切さを説明し、読み聞かせ終了後に1冊の絵本とバッグをセットにして配布する予定である。

## 小中学校適正規模等見直し検討事業

問 どういう方法で保護者や住民の理解を得るのか。

教育部長 検討委員会の委員の任期を1年から2年とし、1年交代により議論がなかなか進展しない現状を改めたいと考えている。

また、27年度は子ども目線の考えを把握することが重要と考え、児童生徒を対象に調査を実施したいと考えている。あわせて、保護者や対象地域の住民、関係校の教職員への調査も考えている。

## 給食材料費

問 消費税増税や物価上

昇による給食費への影響は。

教育部長 平成27年度は1人1食当たり、市より消費税増税分などで10円を補填する。

今後は物価の上昇などを見据え、給食費の値上げも視野に入りたい。

## 基目寺総合体育館駐車場増設

問 どこに何台分つくるのか。

教育部長 土曜、日曜日の大会などの開催時に発生する駐車場不足を解消する目的で、既設の野外ステージ前の広場に区画線を引き、臨時的に駐車場として利用できるようにする。

台数は現在のところ、30台前後を予定している。

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

野中幸夫 就学援助の受給率が中学生で11・4%となり、子どもの貧困があまりでも影響している。

また、期日前投票の場所が3庁舎から本庁舎だけになり、期日前投票したいという住民の願いに応えておらず、住民の参政権を保証しない、民主主義を否定するものとして受け止められない。

社会保障・税番号制度への準備が進んでいるが、社会保障と税だけに活用されていくのではなく、医療情報、預貯金までもが対象となろうとしている。住民の情報が、全て行政によって管理される危険が一層強まっている。評価できる内容もあるが、危険な内容が含まれている。

松下昭憲 木田の区画整理について、3900万ほどの事業費を組んでいるが、23年ほど前の美和町時代にも同じメンバーで木田の区画整理をやるうとしていた。今回もまた同じメンバーが手を挙げている。また、民間の不動産屋がかなりの土地を買っているが、民間の力を利用したら、多分3年でやるのではないかと考える。市がお金を出さなくても、民間にやつてもらえばいい。市で区画整理をやったら、これからまだお金を出さなくてはならない。そして10年かかるだろう。まちの繁栄を祈るなら、民間に任せなければいけない。

## 【賛成討論】

**林正彦** 平成27年度一般会計予算は、昨年に比べ、4・24%の伸びの予算となっている。これは、開院も間近に控えた病院事業負担金や高齢化に伴う社会保障費など欠くことのできないものである。

災害や防犯面においては、地震・津波ハザードマップ作成、耐震シェルターへの補助金など災害に備え、防犯面にも積極的な予算となっている。

健康増進事業では、健康マイレージ事業、がん検診事業の拡充、子どもインフルエンザ予防接種費用の助成など、健康や予防面に配慮している。

子育て支援では、児童クラブの定員を小学校6年生まで増員するなど、家族が働きやすい環境をサポートし、保育環境の整備、充実を図っている。また、満13歳から15歳の通院の医療費について、自己負担額の3分の2の

助成が26年度に実現したが、引き続き27年度予算にも含まれている。

全てにおいて、市民の安全、安心な暮らしを守るために必要な予算と考える。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。

## 病院事業会計

## 主な質疑

**問** 入院・外来患者数の根拠は。

**市民病院事務局長** 平成27年度秋の新病院開院後は、何らかの部分的な診療制限が発生する見込みが高く、当該期間の患

者数は減少する可能性が高いと考えている。

**問** 計画目標と異なる理由は。

**市民病院事務局長** 入札不調により開院予定時期が半年ほど遅れているため。

**問** 大治町の協力金が3000万円から2500万円になった経緯は。

**管理課長** 当初の協力金の合意期間が26年度で終了することになり、引き続き同額で協力をお願いしたが、3000万円という金額に根拠があったわけではなく、大治町との協議の結果、引き続き5年間、2500万円の協力をいただけることになった。

**問** 大治町在住の方が市民病院を利用される割合

は。

**市民病院事務局長** 26年度の1月までの入院患者数は2421人、全体では14・7%、外来患者数は4158人、全体では7・4%である。

**問** 市としては赤字の状態である。協力金を強くお願いすることはできないのか。

**市民病院事務局長** 大治町からの患者数、外来患者数、入院患者数を報告し、何度も交渉したが、相談の結果、減額の要望があった。病院としてはあくまで協力金であるため、了承した経緯がある。

**市長** 今の患者の動向なども含めてお願いしたが、大治町としても財政や住民のことを考えた結果だということ、理解していただきたい。

**問** 10億に近い負担金が

一般会計から運営費へ投入されているが、余りにも額が大きすぎるのでは。新しい病院においての改革プランも含めてお伺いしたい。

**管理課長** 当院規模としての10億の負担は非常に大きく重いものであり、国の繰出基準に基づいて収支均衡できる経営状況にもっていくことが求められている。病院の経営改善などを目的として、地域医療の提供という観点から、新たな改革プランを策定していく。

**問** 改革プランの内容として、外部からアドバイザーを入れてはどうか。

**市長** 病院の中でモチベーションが上がることで、医師の意識をいかに変えていくか、また病院および地域のことを分かっていたらいいと思うので、前へ進むことはできない。これらのことを全部加味した上で、考えていきたいと思う。

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

**岩本一三** 病院事業会計は、厳しい経営の中、市民の皆様の命を守るために努力している。組合病院から5年経過したからと議会に何ら説明することなく大治町の協力金を500万円減額するなど、市長は一般会計からの持ち出しは10億円が限度であるといながら、一般会計から病院会計へ補助する金額は16億401万2000円と明記されており、理解しがたい。

## 採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。